

# 法律専攻「演習」 第3次募集



# 【目次】

- 1. 募集について
- 2. 募集に関する注意事項
- 3. 選考方法
- 4. ゼミ内容

# 1. 募集について

#### 【募集スケジュール】

第	1	次	募	集	
	終	了しまし	た。		

第	2	次	募	集	
	終	了しまし	た。		

			复	<del>5</del> 3	次	募	集	
応	募	期	間	3月28日(月	月)12 時	~ 4月5日	日(火)12 時 50	0分
選	考	期	間	4月6日(水)	) ~ 4	1月7日(2	<b>k</b> )	
合	否	発	表	4月8日(金)	)20 時予	 定 / K·	SMAPY II にて	

# 【応募方法】

# K-SMAPY II より

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。 ※K-SMAPYII からの応募がなく面接を受けるまたは課題提出だけをしているケースがあ りましたので必ず K-SMAPYII からの応募も行ってください。応募がない場合は無効になり ます。

# 2. 募集に関する注意事項

- (ア)必ず応募期間に応募してください。応募期間外の応募は認められません。
- (イ) K-SMAPY II からの応募がなく、面接を受ける、または課題の提出だけをしているケースがありますので、必ず K-SMAPY II から応募も行ってください。
- (ウ)ゼミごとに募集対象者が決められています。応募登録前に、募集要項で、自分が応募できるゼミはどれかを必ず確認してください。もしも募集対象外のゼミに応募してしまった場合には不合格となりますので、十分注意してください。
- (エ)担当教員によって選考方法 (面接・レポート・テストなど) は異なります。「選考方法」 で必ず内容を確認のうえ、応募してください。
- (オ)毎年ありますが、提出期限を超えたリポートの提出は認められませんし、面接時間への遅刻・面接の欠席に関する取り次ぎは教務課では行いません。
- (カ)演習の具体的な開講曜時は、時間割・シラバスで確認してください。
- (キ)履修登録の際には、3次募集で応募した演習の開講曜時にほかの科目を登録しないように注意してください。合格した演習とほかの科目が重複した場合、演習が優先して登録されます
- (ク)政治科目の演習は、政治専攻の「演習 I」「演習 II」との合併開講です。
- (ケ) 合格後に、他のゼミへの変更はできません。

# 3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

教員名	募集	選考	提出	方法・リポート締切	リポート内容	備考		
甘利 航司	対象	対象     方法     面接日時     面接方法       募集なし						
	· 新3年生		提出方法	メール送付 taka1@ kokugakuin.ac.jp	民法財産法(民法総則・物権・債権総論・債権各論)科目を受講した際、「興味深いけれどわからない」と感じた論点につ	(書式) A 4 (字数)		
一木 孝之	・新3年生 ・編入学生 ・転部・転 科・転専攻 生	リポート	締切 日時	4月6日(水)23:59	いて (1) 「ここまではわ かったこと」 (2) 「ここからわから ないこと」	(1)400字 (2)400字 計800字		
		面接	4月7日	日(木)11:00~13:00	オンラインにて			
稲垣 浩				募集なし				
		リポート	提出 方法	アンケート画面で回答	本演習を志望する理由 (メールアドレスを記入	(字数)1,000字		
上神 貴佳	・新3年生	7 4.	締切 日時	4月5日(火)12:50	すること)	(13001		
		面接	接 4月6日(水)13:00~13:30		オンラインにて			
植村 勝慶		募集なし						

教員名	募集	選考	提出	方法・リポート締切	リポート内容	備考		
	対象	方法		面接日時	面接方法			
上江 如	· 新 3 年生	11 10 1	提出 方法	アンケート画面で回答	*	(書式)指定しない		
大江 毅	・新4年生 ・編入学生	リポート	締切 日時	4月6日(水)23:59	ぜミ志望理由について	(字数)制限なし		
岡田 康夫	・新3年生 ・新4年生 ・編入学生	リポート	提出方法	アンケート画面で回答	(1) このゼミへの志望理由 (2) 関心を持った民法判例 (これまで授業で学んだ民法 の判例の中からもっとも興味	(書式)自由		
岡田 旅入	・転部・転 科・転専攻 生	9 40 1	締切 日時	4月7日(木)20:00	を惹いたものを一つ選び、そ の内容と興味を惹いた理由を 詳しく説明してください。)	(字数)自由		
桶田 和子				募集なし				
小原 薫		募集なし						
門広 乃里子				募集なし				
	・編入学生	リポート	提出 方法	メール送付 karita@ kokugakuin.ac.jp	「自己紹介」+	(書式)Word形 式、A4		
茢田 真司	<ul><li>・転部・転</li><li>科・転専攻</li><li>生</li></ul>		締切 日時	4月6日(水)17:00	「ゼミの志望理由」	(字数)800字程度		
	土	面接	4 <i>F</i>	月7日(木)13:00~	対面にて実施 (712研究室/若木タワー7階)			
履修 生 ・担当 3次募 する。	・現在当該ゼミ 履修中の新4年 生 ・担当者から第	の新4年	提出 方法	メール送付 t-kawai @kokugakuin.ac.jp	(1) 自己紹介 (2) このゼミの志望理由 (3) 行政活動や環境保護に 関して関心のある法的問題と	(書式)自由		
	3次募集に応募 するよう指示を 受けた新4年生	3次募集に応募 するよう指示を		4月5日(火)12:50	その理由 (4) どのようなゼミにした いか (5) メールアドレス	(字数)1,200字程 度		

教員名	募集	選考	提出	方法・リポート締切	リポート内容	備考
<b>教員</b> 在	対象	方法		面接日時	面接方法	湘石
	<ul><li>・新3年生</li><li>・現在当該</li><li>ゼミ履修中</li></ul>	リポート	提出方法	メール送付 naokawamura1989 @kokugakuin.ac.jp	自己紹介、民法財産法分 野で興味のあるテーマ、 ゼミでどのような役割を	(書式) doc.,docx.,pdf.形式の いずれか、文字の大き
川村 尚	の新4年生 ・編入学生 ・転部・転		締切 日時	4月5日(火)13:00	果たせるか	さは10.5ポイント (字数)2,000字程度
	科・転専攻 生	面接	4月6	日(水)10:30~16:00	オンラインにて	
	・新3年生 ・編入学生	リポート	提出 方法	メール送付 kazutos@ kokugakuin.ac.jp	志望理由と最近関心を	(書式)自由 (wordで作成し てださい)
坂本一	・転部・転科・転専攻	・転部・転	締切 日時	4月5日(火)17:00	もっている政治的出来事	(字数)1,000字程 度
	生	面接	4月6	日(水)16:00~17:00	オンラインにて	
	・新3年生 ・現在当該 ゼミ履修中	リポート	提出 方法	メール送付 sakota@ kokugakuin.ac.jp	自己紹介、志望動機、	(書式)Word文書 (字数)1,000字程
佐古田 真	の新4年生 ・編入学生 ・転部・転	の新4年生・編入学生	締切 日時	4月5日(火)18:00	ぜミに期待すること	度
	科・転専攻 生	面接	4月6日(水)13:30~15:30		オンラインにて	
	・新3年生 ・編み学生	・編入学生 ・転部・転	提出 方法	メール送付 sasage@ kokugakuin.ac.jp	指定された英文の内容に対す る自分の意見	(書式)自由 (字数)自由
捧剛	・転部・転 科・転専攻		締切 日時	4月5日(火)23:59	(英文タイトルを必ず記載)	
	生	面接	4月7	日(木)12:00~13:00	オンラインにて	

教員名	募集	選考 方法	提出	方法・リポート締切	リポート内容	備考
佐藤 俊輔	対象 ・現在当該 ゼミ履修中 の新4年生 ・編入学生 ・転部・転 科・転専攻	リポート	提出方法	面接日時 メール送付 s.sato@ kokugakuin.ac.jp 4月5日(火)12:50	面接方法 ①当該演習の希望理由 ②関心のある国際関係事象を挙げ、その理由について	(書式)Wordファイル、A4・横書き (字数)1,200字以上
佐藤 彰一	生 ・新3年生 ・編入学生		日時 提 方	メール送付 satosho99@ kokugakuin.ac.jp 4月5日(火)12:50	秋のイメージする権制擁護	(書式)ワード形式 (字数)2,000字
佐藤 秀勝	<ul><li>編入学生</li><li>・転部・転</li><li>科・転専攻</li></ul>	リポート	提出 方法 締切 日時	アンケート画面で回答 4月5日(火)12:50	<ul><li>①志望理由</li><li>②ゼミで勉強したいこと、または最近気になっている法律問題</li><li>③メールアドレス</li></ul>	(書式)自由 (字数)自由
生	生	面接		月6日(水)13:30~ 目談に応じます)	オンラインにて	

教	員名	募集 対象	選考 方法	提出	方法・リポート締切 面接日時	リポート内容 面接方法	備考
芝崎	祐典	・現在当該 ゼミ履修中 の新4年生	リポート	提出 方法 締切 日時	その他(ゼミで事前 に申し合わせ通り) 4月5日(火)13:00	ぜミで事前に申し合わせ た通り	(書式)A4横書き (字数)任意
鈴木	達次	<ul><li>・新3年生</li><li>・新4年生</li><li>・編入学生</li><li>・転部・転</li><li>科・転専攻</li></ul>	リポート	提出 方法 締 切 時	アンケート画面で回答 4月5日(火)17:00	自己紹介文(なお、現ゼ ミ生は提出不要)	(書式)指定なし (字数)800字程度
高内	寿夫	生 ・現在当該 ゼミ履修中 の新4年生 ・編入学生	リポート	提出方法	メール送付 takauchi@ kokugakuin.ac.jp	少年法、少年非行または 少年問題(社会問題でも	(書式)A4版用紙 横書き
		・転部・転 科・転専攻 生		締切 日時	4月5日(火)23:59	可)で関心のあるテーマ について	(字数)500字程度
	・新3年生	・新3年生 ・編入学生	リポート	提出方法	メール送付 n-takaha@ kokugakuin.ac.jp	最近の行政法関連の ニュースで興味をもった	(書式) A 4
高橋	信行	・転部・転 科・転専攻		締切 日時	4月5日(火)12:50	\$ O	(字数)1,000字
		生	面接	4月6	日(水)10:00~12:00	オンラインにて	
高橋	真人				募集なし		
高山	奈美枝	・新3年生 ・新4年生 ・編入学生 ・転部・転 科・転専攻	リポート	提出 方法 締切 日時	メール送付 kym079299@ kokugakuin.ac.jp 4月7日(木)12:50	志望理由	(書式)自由 (字数)自由
羅	芝賢	生			募集なし		
中川	孝博				募集なし		

教員名	募集	選考	提出	方法・リポート締切	リポート内容	備考
**************************************	対象	方法		面接日時	面接方法	C tul
		リポート	提出 方法 締切	メール送付 nakasone@ kokugakuin.ac.jp 4月5日(火)17:00	会社法・金融商品取引法に関係する、2019年~2022年現在までの法律・経済ニュースの中から、関心のある出来事を取り上げ、選択した理由、内容、感想・意見等を纏めなさい。ただし、カルロス・	(書式)Word文書 (40字×40行で横書 き)。である調。 (字数)タイトル・学 籍番号・氏名(メー ルアドレス)を除き
中曽根 玲子	・新3年生 ・現在当該 ゼミ履修中 の新4年生 ・転部・転		日時		ゴーン関係のニュースは除く。	1600字以上  レポート選考後に行いま す面接時間と場所につい て、4月6日(水)までに 各人にメールを送ります ので、レポート提出時に は、必ず連絡先のメース
	・転部・転科・転専攻生	面接	4月7	日(木)14:00~16:00	対面にて実施	アドレスを記載してください。なお望する時間帯を第2希望(1人約20分を予定)まで受けますので、併せて記載してください。とくに希望時間がない場合には、その旨の記載をしてください。ただし、希望に添えない場合があることをご了承ください。
	<ul><li>・新3年生</li><li>・編入学生</li></ul>	リポート	提出 方法	メール送付 nagamata@ kokugakuin.ac.jp	御成敗式目編纂の歴史的	(書式)自由 (字数)1,000字程
長又高夫	・転部・転 科・転専攻	・転部・転	締切 日時	4月6日(水)11:59	意味	度
	生	面接	4月7日(フ	木)13:00~14:00	オンラインにて	
姫野 学郎				募集なし		
	・編入学生		提出 方法	メール送付 uh-kun@ kokugakuin.ac.jp	自己紹介(関心のある問 題等を中心に) & 志望理	(書式)Word文書(拡 張子は.docない し.docx)でA4縦・横
廣瀬 美佳		編入学生 転部・転	締切 日時	4月5日(火)16:00	由;送付するメイルの件 名に「2022年度廣瀬ゼミ 志望」と明記すること	書/余白は上下左右 とも25mm/50字×48 行 (字数)2,000字以内
		面接	4.F	月6日(水)14:30~	オンラインにて	

教員	多	募集	選考	提出	方法・リポート締切	リポート内容	備考			
1//	VН	象饮	方法		面接日時	面接方法	Ma -3			
福岡	英明	<ul><li>・編入学生</li><li>・転部・転</li><li>科・転専攻</li></ul>	リポート	提出方法	メール送付 hfukuoka@ kokugakuin.ac.jp	興味のあるテーマと その理由	(書式)自由 (字数)200字			
		生		締切 日時	4月5日(火)12:50	COLL	(1 30,200 1			
藤嶋	亮				募集なし					
		・新3年生 ・新4年生	リポート	提出方法	K-SMAPYIIの応募アン ケート回答時に記載した KEANのアドレス宛に、 MicrosoftFormsの面接ア ンケートが送付されるの で、それに回答すること		自身のKEANのメー ルアドレス (@kokugakuin.ac.jp ) を記入してくださ			
宮内	靖彦	<ul><li>・新4年生</li><li>・編入学生</li><li>・転部・転</li><li>科・転専攻</li></ul>	・編入学生 ・転部・転 科・転専攻	・編入学生 ・転部・転 科・転専攻	・編入学生 ・転部・転 科・転専攻		締切 日時	【Microsoft Formsの面 接アンケート】 4月5日(火)23:59 ※4/2(土)修正	オンラインにて	い(その後、KEAN のアドレスにメール を送り、指定の Formsアンケートに 回答してもらいま
	生	面接	4月6	日(水)13:30~15:00		す。具体的な手続は 「演習内容」を参照 ください)。				
		・編入学生 ・転部・転科・ 転専攻生	・転部・転科・ 転専攻生 リホ	リポート	提出方法	メール送付 miyashita@ kokugakuin.ac.jp	これまでに最も興味を	(書式)自由(ただし Wordファイルか Pagesファイルで		
宮下	大志	・その他((政 治専攻の学生の 募集も含めて) 復学・再入学し		締切 日時	4月5日(火)14:00	持った講義	メール添付提出) (字数)1,200字程度			
		た学生)	面接	4	月6日(水)14:00	対面にて実施 (0810研究室集合)				
本久	洋一				募集なし					
安田	<ul><li>・編入学生</li><li>・転部・転</li><li>科・転専攻</li><li>生</li></ul>		リポート	提出方法	アンケート画面で回答	本演習での研究したい テーマ・問題関心、研究				
ДЩ			締切 日時	4月6日(水)23:59	方法について具体的に記載してください。	度				

# 4. ゼミ内容

教員名	一木 孝之
演習テーマ	民法(財産法)判例読解
演習内容	<ul> <li>【内容】</li> <li>前期:「これまでに下級審裁判例を読んだことがない、というゼミ生一人ひとりが、最高裁判例を読みこなせるようになるためのトレイニング」を重ねます。</li> <li>後期:毎回、民法財産法にかかわる最高裁判例を1件取り上げ、担当者のレジュメを用いた報告を受けたのち、ゼミ生全員で、そこに含まれる論点を検討します。</li> <li>【ゼミの雰囲気】 「法学部に入ったのだから、判例が読めるようになりたい」「1年間、民法(財産法)をじっくり勉強してみたい」という人を歓迎します。</li> <li>*コンパは、年2回程度です。合宿は、ゼミ生からの希望があれば、検討します。新型コロナウイルス蔓延状況次第ですが。</li> <li>【問い合わせ・レポート提出先】</li> <li>メール宛先: takal@kokugakuin.ac.jp</li> <li>*送信時には、件名を付したうえ、署名(学籍番号・氏名)を忘れないこと。</li> </ul>
教科書	特になし
参考文献	潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選 I 総則・物権 [第 8 版]』 中田裕康・窪田充見編『民法判例百選 II 債権 [第 8 版]』
備考	出席は義務です。欠席の甚だしい者には、受講を認めない場合があります。受講態度不良の者(消極的姿勢に終始するなど)についても同様です。

教員名	上神 貴佳
演習テーマ	歴史としての平成と日本政治
演習内容	平成も約30年をもって、令和という新たな時代を迎えることになった。歴史としての平成をどのようにとらえればよいのだろうか。とくに昭和との関連で平成の政治や経済、社会の課題を理解することを試みつつ、次の時代を展望してみたい。近年、平成を振り返るさまざまな書籍が出版されている。本演習の教科書としては、小熊編(2019年)などを用いることにする。教科書の読破は、受講生に求められる最低限の課題である。複数のテキストを読み比べつつ、本演習のテーマ(歴史としての平成と日本政治)について、自分なりの理解を得られるように、各自が学習を進めてもらいたい。本演習の進め方については、グループに分かれて、報告班と質問班を交互に担当することを想定している。また、いずれの担当になるかによらず、毎回、参加者全員がレジュメを提出する。演習の最後には、各自が本演習のテーマに沿って、レポートを作成して提出してもらう。
教科書	小熊英二(編)『平成史【完全版】』河出書房新社,2019年。
参考文献	薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣, 2014年。 佐藤優・片山杜秀『平成史』小学館, 2018年。 など
備考	

教員名	大江 毅
演習テーマ	民事訴訟法演習
演習内容	この演習は、民事訴訟法に関する理解を深めることを最終的な目標とします。令和4年度の演習では、民事訴訟に関する文献・判例を素材に討論するとともに、ゼミ生各自が取り組みたいテーマについて、最終的には論文ないしレポートの形に仕上げることを目指したいと考えています。もっとも、ゼミは受講生が創りあげるものだと、担当教員は考えています。他に取り組んでみたい事柄があれば、応募のためのレポートの中で適宜お申し出ください。具体的な授業スケジュール・使用教材等については、受講生と相談して決めます。なお、令和3年度は、ゼミ生の希望により、民事訴訟法に関する判例検討、論文・レポートの執筆を実施中です。 ゼミ生の選考は、提出されたレポートを資料として行います。レポートには、ゼミ生の意向を可能な限りゼミ運営に反映させるため、少なくとも、ゼミ志望理由、ゼミで取り組んでみたいテーマないし課題、ゼミへの要望等について記述し(箇条書きでよい)、K-SMAPY II のアンケート画面から応募してください。
教科書	追って指示します。
参考文献	追って指示します。
備考	

教員名	岡田康夫
演習テーマ	判例で学ぶ不動産法
演習内容	不動産は、我々の生活に欠かせない重要な財産です。近年は、空き家対策、負動産化、所有者不明土地問題といった問題が生じており、これらに対応するために法改正などが活発に進められています。そこで、不動産をめぐる裁判例を題材にして、民法を学びましょう。 例えば不動産の取引。当事者の意思能力・行為能力や売主の担保責任、宅建業者の重要事項説明義務などが登場します。不動産の所有。区分所有(マンション)の法律関係や土地の境界をめぐる争いなどが含まれます。民法総則、物権、債権各論といった講義で学ぶ事柄が、形を変えて登場します。こうした、とても幅広い不動産に関する事柄を、講義とは違った角度から学びましょう。 なお、最高裁判例だけでなく、地裁や高裁の裁判例も取り上げます。判決文をきちんと読み解きながら内容を整理し、登場した法的問題を分析・検討します。受講人数によって変わりますが、原則として複数のゼミ生で判例発表を行い、その内容をもとにみんなで議論していきます。
教科書	特になし
参考文献	秋山靖浩『不動産法入門』(日本評論社、2011年) 安永正昭・鎌田薫・山野目章夫編『不動産取引判例百選〔第3版〕』(有斐閣、2008年)
備考	・ゼミの主役はゼミ生です。不動産(法)に関心を持ち、学びたい意欲のある学生を歓迎します。 ・出席は必須です。正当な理由のない欠席が続く場合は除籍等の対応をすることがあり得ます。 ・世の中の状況によりますが、夏期にゼミ合宿を行う予定です。 ・面接は、zoomを使ってのオンライン面接となります。個別面接ですので、一人一人の面接開始時間は異なります。zoom面接のURLと、個人の面接開始時間は、レポート提出したアドレスへの返信で前日までに通知します。通知した開始時間の2、3分前にログインし、待機していてください。 面接の日時にどうしても都合がつかない、あるいは開始時間を配慮してほしい(「4限にオンライン授業があるのでその前に設定してほしい」など)場合は、K-SMAPYIIでの応募の際にメールアドレスの後にその旨を記述してください。

教員名	<u>大日秋に戻る</u>
演習テーマ	民主主義の可能性
演習内容	最近、民主主義が危機にあるとよくいわれます。アフガニスタンやミャンマーでの民主主義の全面的な後退だけでなく、民主主義が確立しているはずの国々でもポピュリズムや権威主義が拡大しています。こうした現象を見ると、確かに民主主義の将来は、かつてのように楽観的に考えることのできない状況にあるように思えます。しかし、そもそも私たちは、現代の民主主義という政治制度について、どの程度正確に理解しているのでしょうか?民主主義は、どのような価値を実現するもので、民主主義が健全に機能している状態というのは、どのような状態なのでしょうか?今年度の演習は、「民主主義」をテーマとして、現代の民主主義がどのようなしくみなのかを、主に思想の側面から考えてみることにします。そして、「くじ引き民主主義」(ロトクラシー)という、いささか奇妙な制度を材料に、民主主義が持つ可能性を、いっしょに検討していきたいと思います。 演習参加者は、これに加えて、自分の好きなテーマについて論文を執筆してもらい、論文報告会で報告してもらいます。論文は、基本的に演習時間外に執筆してもらいます。参加を希望する人は、あなたの人となりを理解することができる「自己紹介」と、「ゼミの志望理由」を合わせて800字程度(Word 形式)にまとめて、4月6日(水)17時0分までに、メールで karita@kokugakuin.ac. jpまで送付してください。面接は、4月7日(木)13時から、712研究室(若木タワー7階)で実施します。
教科書	宇野重規、『民主主義とは何か』、講談社現代新書、2020年 空井護、『デモクラシーの整理法』、岩波新書、2020年 吉田徹、『くじ引き民主主義』、光文社新書、2021年 ダーヴィッド・ヴァン・レイブルック、『選挙制を疑う』、法政大学出版局、2019年
参考文献	山本圭、『現代民主主義』、中公新書、2021年 権左武志、『現代民主主義 歴史と思想』、講談社選書メチエ、2020年
備考	面接当日に都合が悪くなった場合や演習についての質問がある場合には、karita@kokugakuin.ac.jpまでメールで申し出てください。

教員名	川合 敏樹
演習テーマ	行政法と環境法の基本的・発展的問題を学ぶ
演習内容	行政法と環境法(主に国内環境法)の制度・理論・実務などを学んだり、原告側・被告側に分かれて裁判例を検討したりします。前期は、ゼミ形式での学習に慣れるとともに、行政法や環境法の基本を理解することを目標とします。後期は、ゼミ生の希望のもといくつかのテーマを取り上げ、ゼミ生のより主体的な参加に基づいて、より各論的・専門的な考察を進めていく予定です。今年度後期は、土地・空間の利用やまちづくり、廃棄物処理、自然保護(外来魚規制)が問題となった事例などを検討しています。希望者は個人でのリサーチペーパー(ゼミ論文)の執筆も可能です。ゼミで学び、ゼミを創っていくのは、他ならぬゼミ生自身です。ただ教室に来て黙って座っているだけではなく、全員で考えて議論したり、授業内外で関心を持ったことに積極的に取り組んだりするなど、ゼミでの学習やゼミの運営に主体的に参加したいという方の応募を待っています。状況が許すならば、ゼミ生による発案・運営のもと、懇親目的の企画も適宜行ないたいと考えています。 選考にあたって面接を実施する都合上、提出するレポートには、川合と連絡のとれるメールアドレスを記載するようにしてください。
教科書	教科書類は特定せず、適宜教材を配布・紹介します。
参考文献	開講後に指示・紹介します。
備考	面接の正確な実施時刻は、メールにて相談のうえ決めることとします。授業の都合上、上記時間帯での面接が不可能な方は、相談のうえ他の曜時に面接を行ないます。 ぜミでは、原則として遅刻・欠席を不可とします。遅刻・欠席せざるを得ない場合は、 理由を付して事前に相談・連絡すること。

教員名	川村 尚子
演習テーマ	民法判例演習
演習内容	この演習では、民法のうち主として財産法に関する基本問題を取り上げ、具体的な事例を検討対象としながら、民法の基本的な制度、その趣旨、機能について学習していきます。基本的な知識を習得することはもちろんですが、なにが問題となっているのかを発見し、資料等を調査・収集し検討をおこなったうえで、その結果を説明して議論する力を養うことを目標とします。 具体的には、最高裁の重要判例について担当班にレジュメを用いて報告してもらい、それに基づいて全体で討論をします。したがって、担当班以外の受講生にも予習をして積極的に発言することが求められます。ただ、いきなり判例を報告してくださいといっても難しいと思うので、授業の前半では、クラス全体で判決の読み方や関連資料の探し方などのレクチャーをします。 どの判例をとりあげるかについては、最初の授業のときにみなさんの意見も聞きたいと思います。また、参加している学生の希望に応じて、事例問題を解く回も設けたいと考えています。最終的には、各自、演習でとりあげた判例についてレポートを提出してもらいます。 評価については、レポート、出席、報告、討論・質疑などを総合的に評価します。 昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため、コンパや合宿はできませんでしたが、例年受講生の希望に応じて、受講生に企画してもらい、実施しています。 ※次年度は、担当教員が秋学期から在外研究のため演習を持つことができないので、前期集中開講(2限連続で実施)となりますので、注意してください。
教科書	授業時に適宜指示します。
参考文献	授業時に適宜指示します。
備考	原則として、欠席は認めません。 やむを得ない事情がある場合にのみ欠席を認めますが、その際には、必ず事前に川村まで 直接連絡するようにお願いしています。 また当然ですが、担当班には、報告の準備のために、班のメンバーと数回話し合ったり、 レジュメを作成する機会を授業時間外でとってもらうことになります。 面接は、Zoomで行います。詳細については、応募後にメールで連絡します。

教員名	坂本 一登
演習テーマ	国際関係と昭和前期の日本
演習内容	来年度のテーマは、「国際関係と昭和前期の日本」である。昭和戦前期は、戦争への道を歩みはじめた時代であるが、その時日本はどのような国際関係の中にあったのだろうか。そして、当時の国際関係と日本の政治はどのように関係し、戦争への道とどのように関連していたのだろうか。通常、昭和期の日本は、軍部の暴走として描かれ、理解されていることが多い。 しかし戦争は一国の事情だけで起きるわけではない。昭和史の転機となった満州事件を中心に、視野を広げ、国際連盟を軸とした国際関係のなかで昭和史を考え直してみたい。国内からだけみる世界とは、異なった景色が広がってくるかもしれない。なお、演習は、前期は文献講読、後期はゼミ・ペーパー(4000 字程度)の作成になります。
教科書	クリストファー・ソーン:満州事変とは何だったのか一国際連盟と外交政策の限界 草思社 翻訳 1994 小林道彦:近代日本と軍部一1868-1945 講談社現代新書
参考文献	山本七平:一下級将校の見た帝国陸軍
備考	演習希望者で、指定の時間が不都合な場合は、メールで連絡ください。調整します。 (kazutos@kokugakujin. ac. jp)

教員名	佐古田 真紀子
演習テーマ	民事手続法の判例について討論する
演習内容	毎回、民事手続法の判例を取り上げて、その論点を深く掘り下げていきます。民事訴訟法上の論点には、例えば「お寺の住職が解雇されても裁判上の救済は受けられないのか?」「盗んだ日記を証拠として法廷に提出することは可能?」「訴状が誤って被告に届かないまま判決が下されても、被告は判決に服さなければいけないか?」等といったものがあります。ぜきではこうした問題につき、報告担当チームが報告を行った後、ぜき生全員で質問や意見を出してざっくばらんに話し合いながら、手続法的な考え方を修得していきます。毎年秋に、北は北海道、南は沖縄まで全国の大学から約18 ゼミ 300 余名の民訴ゼミ生が集う民事訴訟法合同ゼミナールが開催され、この合同ゼミへの参加が当ゼミのメインイベントとなりつつあります。4年生のサポートのもと、3年生は短期間でめきめきと実力をつけ、毎年、佐古田ゼミは他大学のゼミと、楽しく充実した討論を行っています。前日の開会式では各ゼミのゼミ長によるユーモアたっぷりのゼミ紹介があり、また、討論終了後の懇親会では他大学の学生や教員と交流を深めて盛り上がります(2021 年度はハイブリッドで実施予定)。すっかりその魅力にとりつかれたゼミ生達は、合同ゼミを目標に、年間を通して主体的に計画を立て、お互いに協力し合ってゼミ活動を行っています。
教科書	
参考文献	伊藤眞 『民事訴訟法 (第6版)』 (有斐閣) 高橋宏志 『重点講義民事訴訟法上・下 (第2版補訂版)』(有斐閣) 高橋宏志他編 『民事訴訟法判例百選 (第5版)』(有斐閣)
備考	民事訴訟法 IAB、民法総則、債権各論、債権総論、物権の講義を履修済みであるか、同時 に履修することが必要です。

教員名	捧剛
演習テーマ	ちょっと専門的な英文を読んでみたい。 ついでに、それをもとに意見を述べてみたい。
演習内容	この演習は、たとえ現在はほとんど英文が読めなくても、種々の目的のために(もちろん、単なる好奇心でも OK です)、英語で書かれたちょっと専門的な文章を読んでみたい、そして、願わくは、現在よりは、そうした英文をよりよく読めるようになりたいという人向けのものとなっています。 そのために、毎回、事前に配布された英文(おそらく、その多くは新聞記事になると思います)の日本語訳を発表してもらいます(英文の長さや難易度は、参加者のスキルにあわせて調整するつもりです)。そして、その内容について各人が思ったこと、感じたことを日本語で述べてもらおうと思っています。 面接(5~10 分程度)においては、主として、なぜ、この演習を志望するのかをお聞きすることになりますが、その際に、自分の「やる気」を示す材料として、以下のURLのいずれかにアクセスして、そこにある英文記事のどれか1つに目を通し(詳細に読む必要はありません。また、わからないところは飛ばしてしまってかまいません)、その記事が扱っている問題について自分はどのように考えるかを日本語で書いたものを持参してください(形式、字数はご自由に。ただし、どの記事を読んだのかがわかるように、記事の英文タイトルを必ず記載してください)。 なお、この演習の第3次募集は、基本的に、法学部法律専攻に編入または転部した新3年生に機会を提供するものですが、条件に当てはまらないけれど、どうしても履修したいという新3年生を排除するものではありません。 (1) https://www.theguardian.com/law (2) https://www.independent.co.uk/voices/ (3) https://www.bbc.co.uk/news/uk
教科書	
参考文献	
備考	

教員名	佐藤 俊輔
演習テーマ	自由主義的な国際秩序とその行方
演習内容	本演習は、国際政治の現在に関して学びを深めていくため、大きく分けて以下の3つを行うことを予定しています。 ①共通テーマ「自由主義的な国際秩序とその行方」に関する指定文献の輪読・討論(通年)) ②数名ずつに分かれ、共同で決定した主題につきグループでの研究・発表(前期) ③個々人の関心に基づく演習論文の執筆(後期) 演習の主要な主題となるのは「自由主義的な国際秩序とその行方」であり、それに関わる様々な文献を輪読し、議論していくことです。近年、英国のEU離脱や米国におけるトランプ政権の成立を契機として、一方では先進国内部におけるポピュリズムの高まりや格差の問題が、他方では国際的な権威主義体制の高まりが指摘されるようになりました。とりわけ米中の対立が様々な側面で表れるに従い、従来アメリカを中心に形成されてきた「自由主義的な国際秩序」が揺らいでいるのではという点が国際政治における大きな論争の焦点となっています。本年度の演習では、様々なテキスト、参考書籍、論文等を渉猟する形でその論争の内容を吟味し、全員で議論を行うことで、現在の国際政治についての知見を広め、分析を深めていくことを目指します。(下記の教科書、参考書は現時点での予定であり、開講時にはその時点までの議論の状況や参加者の人数、参加者の関心、負担等を考慮して変更を加えることがあります。) これと並行する形で前期にはグループでの研究調査・報告を行い、後期には個々人の関心に応じて演習論文の執筆に向けた主題決定、調査および途中報告を行い、全員で議論を行っていきます。演習論文は、共通のテーマに限らず、広く国際関係に関する事柄のなかから自由に主題を設定して頂いて、演習の終了時までに論文を執筆し、提出して頂くことが目標となります。
教科書	納家政嗣・上智大学国際関係研究所編『自由主義的国際秩序は崩壊するのか―危機の原因 と再生の条件』勁草書房、2021年(予定)
参考文献	佐橋亮『米中対立—アメリカの戦略転換と分断される世界(中公新書 2650)』中央公論新社、2021年 イワン・クラステフ『模倣の罠—自由主義の没落』中央公論新社、2021年 ブランコ・ミラノヴィッチ『資本主義だけ残った—世界を制するシステムの未来』みすず 書房、2021年 等
備考	共通のテーマに関する上記の参考文献等は予定であり、変更することがあります。 また、書籍だけでなく様々な論文を抜き出して配布する予定です。

教員名	佐藤・彰一
演習テーマ	権利擁護をめぐる法と手続
演習内容	日本社会の中で、高齢者・障害者に対する社会的支援は、どんどん重大な課題になってきています。そのキーワードは、権利擁護(Advocacy)です。これらの人々の日常生活は、消費者紛争はもとより、虐待、事故対応、施設契約トラブル、相続・離婚などさまざまな紛争に溢れています。対応としては、訴訟や成年後見制度の利用といった司法制度の利用はもちろん、交渉、調整、など司法以外のさまざまな手段が動員されていきます。福祉や介護、医療の関係者は、権利擁護というタイトルでこうした問題を扱いますが、法律学からこれらのトラブルをみれば、憲法や民法、民事訴訟法に関わる、ごく普通の法律問題です。 成年後見制度や紛争処理の仕組みを学ぶことがメインになりますが、本ゼミでは、理解を深めるためにゼミ論の作成と主要文献の輪読をメインにおきます。 対象となるテーマが、困難な生活の中で生起するものですので、法哲学やケア論などの話題にも関わってくることもあります。
教科書	指定しない
参考文献	ゼミ実施時に担当者が用意します。
備考	なお、選考はレポート方式を採用するが、現在履修中のゼミ生は、レポートを提出する必要はない。

教員名	佐藤 秀勝
演習テーマ	最高裁判例または事例問題の検討
演習内容	1. 演習の目的 ・この演習の目的は、最高裁判例または事例問題の検討を通じて民法の理解を深めることにあります。皆さんはこれまで、講義等を通じて民法の基本的な知識を身につけてきたと思いますが、それらの知識は、具体的な紛争を解決することができてはじめて「生きた知識」になると言えます。そこでこの演習では、判例または事例問題の検討や他の人とのディスカッションを通じて「生きた知識」を身に付けることを目指します。 2. 演習の内容・進め方 ・1 で述べたことは現時点での予定です。実際には参加者と相談のうえで内容を決めるつもりです(たとえば令和3年度前期は、新聞記事等を題材とする報告を行いました。その他、文献購読等も考えられます)。 ・進め方に関しては開講時に説明します。 ・学生が主体となったゼミ運営を目指します。また、グループ単位での作業やディスカッションを行ってもらう予定です。
教科書	開講時に説明します。
参考文献	開講時に説明します。
備考	1. 次の場合には除籍等の対処をします。 ①無断で欠席した場合、②欠席につき連絡をしたが、その理由が欠席を正当化するものとは言えない場合、③正当な事由による欠席を6回以上した場合、④遅刻・早退をした場合(公共交通機関の遅延を除く) 2. 面接に関して (1) 面接はオンラインで実施します。連絡先を知る必要がありますので、課題提出の際にメールアドレスを正確に記載してください。また、日程については相談に応じます。 (2) 面接では、レポートの内容のほか、民法に関する基本的な事項(※)についても質問する予定です。 (※) 次のうち1つをお聞きします:①契約自由の原則(特に契約内容の自由)と制限、②過失責任と無過失責任、③物権と債権の違い。いずれも具体例を使って説明できるように準備しておいてください。

教員名	芝崎、祐典
演習テーマ	国際関係論/国際関係史
演習内容	前期は国際関係論や国際関係史に関する文献を輪読します。割り当て箇所を発表してもらい、それをもとに参加者全員で討議します。読んでもらう課題文献の分量は少なくなく、密度も高いものなので、積極的に勉強したい学生を歓迎します。輪読する文献は年度によって異なりますが、政治、経済、文化、環境などについて国際関係論・国際関係史的視座から論じたものの中から選んでいます。 後期は参加者各自が設定した個人研究テーマについての発表や、各自で選択した文献に基づいた報告を行います。個人研究テーマ設定は前期に扱う共通テーマの範囲内である必要はなく、広く国際関係論や国際関係史のなかから関心のあるトピックを自由に探してもらいます。これについて各自がリサーチし、年度の最終に各自の研究テーマをゼミ論(研究論文)にまとめて提出してもらいます。テーマ設定や研究の進め方、論文の書き方などの方法論について随時指導します。  ゼミに応募を希望する学生は、以下のレポートをWordで作成して提出日時までにメールに添付して送付してください。 (メールの件名に「國學院演習応募」と記してください。) (1) ゼミ志望理由、(2)勉強の中で今まで最も関心を持ったこと(国際関係論や国際関係史に限らず、何の分野でも良い):この二つを盛り込んで自由に文章を作成してください。
教科書	開講後にご案内します。
参考文献	適宜紹介します。
備考	

教員名	鈴木 達次
演習テーマ	会社法判例研究
演習内容	【内容】 会社法の基礎判例を取り上げて研究を行います。 皆さんの多くは、現在会社法の講義を受けているか、あるいは過去に受けたことと思います。しかし、民法や刑法と異なり、会社法は抽象度が高く、講義だけでは、それがどのように適用されるか、イメージすることは難しかったでしょう。そのためには、具体的な事案(判例)に即して適用関係を学ぶ必要があります。このゼミが会社法の基礎判例を取り上げるのはそのような理由からです。 会社法は会社組織のあり方や取引相手との関係にまつわる法律問題を解決するルールです。大学時代にしっかり学んでおきましょう。 【運営】 司会者の進行にしたがって報告者が基調報告を行い、それに基づいて受講生全員が討論します。報告者はレジュメを用意し、それ以外の方もちゃんと予習をしてくる必要があります。 最初のうちは難解に思えるでしょうが、毎週予習してゼミに臨むことにより、少しずつ問題点が分かってきます。議論も活発にできるようになり、徐々に会社法が面白く感じられるようになるでしょう。やがては「中毒」といっていいほどゼミにのめりこむことになります。 【成績評価】 司会、報告および討論の内容により総合的に評価します。なお、正当な理由なく遅刻・欠席した場合には単位は認定されません。
教科書	指定しません。ただし、六法は毎回持参してください。
参考文献	開講時に紹介します。
備考	

教員名	高内寿夫
演習テーマ	少年法で自由に議論をしよう 一グループディスカッション・プレゼンテーション・ディベートで—
演習内容	本ゼミナールは、グループディスカッション、プレゼンテーション、ディベートという3つの形式によって、少年法を多角的に検討していきます。 本ゼミナールの目的は、少年法に関するテーマで、ゼミ生に、コミュニケーション力を身に付けてもらうことです。 少年法は、講義自体が3年次に配当されていることから、前期は、教員がテーマを設定した上で、ゼミ生には、グループディスカッション、ディベートに習熟してもらおうと思います。前期に取り上げるテーマは、非行少年には刑罰を科すべきか保護処分を課すべきか、少年法の適用年齢を18歳に引き下げるべきか、非行少年は実名報道すべきかなどです。 後期は、ゼミ生が取り上げたいテーマを自ら設定して、まず、ゼミ生にプレゼンテーションをしてもらいます。その後、関連するテーマについて、グループディスカッション、ディベートの形式を用いて、自由に議論をしていきます。
教科書	澤登俊雄『少年法入門[第6版]』(有斐閣、2015年)
参考文献	テーマが決まった段階で紹介します。
備考	【選考方法:レポート】  ■題目:少年法、少年非行または子どもに関する社会問題で関心のあるテーマについて  書式: A4 版用紙横書き (字数 500 字程度)  ■締切日時:4月5日(火) 23時59分  ■提出:メール送付(takauchi@kokugakuin.ac.jp)

教員名	高橋 信行
演習テーマ	行政法の最新判例を学ぶ
演習内容	本ゼミでは、行政法の最新判例について学習する。法学部の講義においては、一つの判例を丁寧に分析する余裕はないが、本来、判例の分析は法学部生として必須の課程であるので、このゼミを契機として、判例分析の能力を習得するとともに、行政法の分野にどのような変化が生じているか、という点を学んでほしい。 ゼミの進め方としては、前期においては、3~4 の判例を取り上げ、参加者全員で判例の読み方・関連文献の調べ方・他の判例との比較・先例拘束性の法理の意義・行政法の一般法理論等について学ぶ。後期においては、参加者が各自報告を行い、その報告を基に全員で討議・検討を行う。新型コロナウィルスの感染状況にもよるが、授業の一環として夏休み(8 月下旬―9 月上旬)に 1 泊 2 日のゼミ合宿を開催するので、必ず参加してください(正当な理由のない欠席は認めない)。 ゼミの選考はレポートと面接に基づいて行うので、応募に際しては、以下に掲げた課題について 1000 字程度のレポートを執筆し、メールにて送ってください。 なお、指定された面接日時(4 月 6 日 10 時-12 時)に参加できない者は、メールにて高橋まで連絡してください。 【課題】「最近の行政法関連のニュースで興味をもったもの」について、新聞やニュースを調べた上で、行政法関係のニュースで興味をもったものを紹介してください。そして、なぜそれに興味を持ったか?関係する法的争点は何か?自分だったらどのような解決を試みるか?といった点について意見を述べてください。(1000 字)また、自分の自己紹介(特技や将来の夢、ゼミに向けての意気込み等)と連絡先(必ず連絡のとれるメールアドレス)も付記してください。(200 字)
教科書	
参考文献	
備考	

教員名	高山 奈美枝
演習テーマ	民法演習
演習内容	この民法演習では民法の基本を習得することを目的とします。民法の基礎についてはある程度すでに学習されていると思いますが、より根本的に考察できるよう、その方法論から学んでいきます。すなわち条文を中心として民法の規定する諸制度、および判例・学説を整理し、より明晰な形で問題を提起・検討を行い、結論を導くことを試みます。またさらなる調査・研究を行っていけるような力をつけるため、資料収集や発表の方法についても学んでいきます。民法の財産法ならびに身分法のすべてを対象の中心としながら、それぞれの関心に応じた課題を見つけていただいて結構です。 民法は〈私〉の生きるためのルールの集合です。それは大変豊かな内容と大きな歴史を有しています。そのようなことも学ぶ機会にしていきたいと思います。
教科書	適宜指示します。
参考文献	適宜指示します。
備考	

教員名	中曽根 玲子
演習テーマ	会社法・金融商品取引法を巡る事例を考える
演習内容	社会を騒がせた有名な事件(ニュース)であっても、法的な論点が何であったのかは意外と知られていないことが多い。本演習では、会社法(金融商品取引法を含む)に関連する最新のニュース(たとえば、企業不祥事と内部統制、株主代表訴訟、役員報酬、企業買収、インサイダー取引、不正な株価操作等などの事例)を取り上げ、問題の背景や法的問題点を調べ、実際の事例からアプローチして法規制の意義を考え、会社法・金融商品取引法を理論的に学習することを目的としている。 ゼミでは、グループワークを重視し、報告・レジュメの提出等を通じて、臆せずに素朴な質問もでき、法的な問題にも全員で取り組む中で自ら説明ができることを目的とする。前期では、4年生を中心に会社法・金商法の基本的事項について学習を深め、後期には、株式会社制度を考えるきっかけとなる図書をテーマとする議論や個別発表・全体発表などを行う予定である。 広く経済社会の出来事に興味や問題意識を持ち、ゼミ活動に積極的に取り組む意欲のある学生の参加を期待したい。
教科書	●会社法に関するテキスト(とくに指定しないので、授業等で使用しているものでよい) ●金融商品取引法に関するテキストは、演習内で指示する ●指定六法(最新版が望ましい)
参考文献	その他、必要な参考文献は適宜指示、または演習内で配付する
備考	ゼミの受講を希望する場合には、会社法の基礎的知識が不可欠になるので、すでに「会社 法の基礎」を履修している(または履修中)か、ゼミと並行して履修することが必要であ る。なお、株式会社に関する法制度をさらに深く学修したい場合には、「株式会社法 I A」 「株式会社法 I B」「株式会社法 II」を積極的に履修してほしい。

教員名	長又高夫
演習テーマ	前近代の法典・法書を読む
演習内容	昨年に引き続き、御成敗式目を読んでいく。中世社会にうまれた御成敗式目がどのような法典であったのか、歴史的に考察する。前近代社会において御成敗式目が重んじられたその理由を探ってゆく。 進め方としては、まずは 51 か条を1カ条ずつ解釈して、その内容を正確に理解した上で、律令法や公家法との関係を明らかにする。また、その後に制定された追加法との関係も考えながら、中世法の面白さを知ってもらいたい。 1カ条ずつ独立しているので、今年から参加することも問題はないと思われる。事前に担当者をきめ、調べてきてきた内容を発表してもらい、質疑応答を行う。また解釈にあたっては、読み下し文と注釈を載せる『中世政治社会思想 上』(岩波日本思想大系)を参考にすると良い。なお鎌倉・室町期に執筆された式目の注釈書も大いに参考となる。
教科書	『中世政治社会思想 上』(岩波日本思想大系)。ただし担当箇所をコピーするだけでも良い。
参考文献	植木直一郎『御成敗式目研究』(名著刊行会)、長又高夫『御成敗式目編纂の基礎的研究』 (汲古書院)、『中世法制史料集』全7冊(岩波書店) ほか
備考	面接をオンラインで希望する学生は、nagamta@kokugakuin.ac.jp まで、ご連絡ください。 指定日時は対面のものですので、希望日時を打ち合わせましょう。

教員名	廣瀬 美佳
演習テーマ	私たちを取り巻く社会と医療と法(仮)
演習内容	本演習では、基本的には、初回の授業で履修者と相談の上、その年度のテーマを決めることになります(2021年度は、一応、担当教員の方で、本人のライフワークであり医事法の授業でも講義しているところをテーマに掲げたところ、これに興味をもった学生が応募・履修することとなりましたが、引き続き新型コロナ・ウイルス禍に見舞われていることもあり、また、東京オリンピック・パラリンピックが開催されたこともあって、前期は、2020年度に1年間かけて勉強した「感染症対策と法」を引き続きテーマに据え、特に検疫等の水際対策を中心に学びました+後期は各自が自身の関心のあるテーマにつき調べて報告をするというスタイルで進めています)。ですので、2022年度についても、上記のように、医療問題を一応のテーマとしておきますが、面接時に履修(希望)者それぞれがどういった方面に関心を持っているか等につき把握した上で、最終的には、年度初回の授業時に全員が顔を合わせたところで(このままコロナ禍が収束して、いわゆるリモートではなく、教室で直に御目にかかれるといいのですが…)、全体テーマ/個別テーマ、半期ないし通年のゼミの進め方などにつき、相談の上、決定する予定です。但し、担当教員の専門性との関係で、医療問題ないしその周辺を扱うこととした方がよりスムーズなゼミ運営につながるでしょうし、例えば憲法や刑法は全くの専門外ですので、いずれにしても、民法や医事法プロパーな法律を中心に勉強することになるものと思われます。
教科書	授業時等に適宜指示します。
参考文献	授業時等に適宜指示します。
備考	(01) 事前の志望理由等提出について: 必ず、提出締切日である 2022.04.05.(火)の 16:00 までに廣瀬のアドレス宛に着信するよう、送付すること。折り返し、面接用の Zoom の招待状をお送りします。 (02) 選考日時について: 事情により当該日時に面接を受けられない場合は、予め、その旨申し出ること(面接の終了時刻は応募人数により前後するため明記しない&面接に要する時間は応募者 1 人につき 15 分程度を目安とします)。 (03) 履修者数について: 参加者全員による議論を成立させるため、新 3・4 年生&編入生&転部・転科・転専攻生合わせて 20 名程度を上限としたい。

教員名	福岡英明
演習テーマ	簡単な事例問題を解きながら、基礎知識を確認し、思考力を高める
演習内容	「フォーカス憲法 事例から学ぶ憲法基盤」という演習書を利用して、簡単な事例問題を解きながら基礎知識を確認していきます。 毎回、1 問解くことを目指しますが、実際には、1 問解くのに3回くらいかかると思います。とくに各回の担当者は決めずに、教員と学生、あるいは学生同士の問答により演習を進めます。 基礎知識があやふやなところがあれば、その都度、教員が補足的な説明をします。 どのような順序で考えていけば、結論にたどり着けるのかを教員・学生間でのディスカッションを通じて体得できればと思います。 1・2 年次に憲法を履修したけれども、なんだか心もとないと感じている学生でも、気軽に参加できる演習をしたいとおもいます。
教科書	加藤一彦・阪口正二郎・只野雅人編著「フォーカス憲法 事例から学ぶ憲法基盤」北樹出版
参考文献	適時、必要なものをコピーして配布する。 また、使用する教科書に問題ごとの参考文献が提示されているので、興味があれば読むとよい。
備考	K-SMAPYⅡで登録せずに、メールだけ送ってくる学生がいますが、必ず登録したうえで、メールを送ってください。 夏休み中の合宿を行う予定はありません。

教員名	宮内 靖彦
演習テーマ	国際法の欠缺の場合の国際法の使い方・作り方
演習内容	令和 4 年度の国際法のゼミは、「国際紛争で国際法のルールが明確でないとき、国際法を どのように発見したり創ったりするのか」を検討します。 具体的には、前期に、この問題についての本や論文を読み、後期に、各自が選んだ事例で、 実際にどのように国際法を補って対応されたか、それをどう考えればいいかについて、各 自が調査研究し、ローテーションで報告し、最終的にゼミ論の形でまとめる予定です。 (応募手続) 応募者は、K-SMPAY II から応募する際、KEANメールのアドレスも記入してください。 私から KEAN のアドレスにメールを送ります。メールには Microsoft Forms の面接アンケートのリンクと Zoom ミーティング情報・面接時間・方法が記されていますので、確認してください。 Microsoft Forms の面接アンケートは、4月5日(火)18時00分までに、メール記載のリンクにアクセスし、KEAN アカウントでログインして、回答してください。 また、面接は、所定の面接時間に KEAN のアカウントを使って、Zoom でアクセスしてください。
教科書	特になし。但し、条約集は必携(出版社は問わない)。
参考文献	授業中、随時指示する
備考	宮内との連絡は、大学の KEAN メール (@kokugakuin. ac. jp のメール) を使いますので、KEAN メールの受信メールを確認してください。私からのメールが来ていないと思われるときは、ブラウザで下記の URL のホームページにアクセスして確認してください。それでも見つけられない場合は、宮内までメールで連絡してください。 (参考: Office365/メールシステム)→ https://outlook.office365.com/owa/kokugakuin.ac.jp (宮内の KEAN メアド: miyauchi@kokugakuin.ac.jp)

教員名	宮下 大志
演習テーマ	「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来、どうしよう?」
演習内容	日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。  日本の政治と民主主義は、かつては「55 年体制」のもと、かわりばえのしない、そしてあまりよくないイメージで見られてきました。しかしみなさんの生まれる10年ほど前、その「55 年体制」が崩れ、また日本の政治状況の変化もあって、55 年体制の時代とは違う要素も出てくるようになりました。一応、政権交代も起こりましたが、その後「○○一強」という状況になって、しかしその後まさに直近の情勢ではまた変化の兆しも見せています。  そして社会の状況としては、格差問題、女性の権利の問題などをどうするべきか、問いかけられている状況ではないかと思います。  そこで来年度のゼミでは、この日本の政治・民主主義について、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかなどを論じてゆきたいと思います。  そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということをみなさんとやってゆく予定です。 そしてその際には、欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。なお、応募者は、「これまでに最も興味を持った講義」という題目で、これまで履修した講義のうち、もっとも興味を持った講義について、その内容を紹介しながら、そこから自分が何を考えたかを記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。現ゼミ生は選考を免除します。
教科書	開講時に指定します。
参考文献	必要に応じて紹介します
備考	面接は、対面での面接としたいと思います。個別面接ですので、全体としては 4/6 (水) の 14:00 開始ですが、その時間に集合していただいた上で、個人個人の面接時刻を指定します。 面接の日時にどうしても都合がつかない、あるいは開始時間を配慮してほしい (「4限に授業があるのでその前に設定してほしい」など)、さらには対面の面接は避けたいといった場合は、レポート提出の際のメールで知らせてください。メールでのやりとりで相談させていただきます。 なお、面接は一人 15 分ほどを予定しています。ですので、応募者が例年になく多くならない限り、当日の対面での面接は遅くとも 16 時には最後の面接を終えられるかと思います。

教員名	安田 恵美
演習テーマ	わが国における「犯罪対策」「犯罪者等への対応」を検討する
演習内容	近時の日本における「犯罪現象」や「犯罪対策」に対する、あなたの印象・意見はどのようなものでしょうか。そして、その印象や意見の基礎をなす情報はどこから入手したものでしょうか。とりわけ重大な事件が起きたとき、各種マスメディアで大々的に報道されます。しかし、それは特定の事件であって、必ずしも日本の犯罪現象を代表するものではありません。本演習では、まず、日本の犯罪現象について科学的に分析を行う作業を行います。その上で各種犯罪対策や犯罪者への対応について、現状を理解し、分析する作業を行います。 前期はこの作業を行うために必要な基礎的な知識やスキルの習得に向けた作業を、後期は各々で設定したテーマの分析を進め、1万字程度のレポートにまとめる作業を行います。くわえて、受講生との相談の上で、オンライン等での各種専門家等へのヒアリングや他大学の学生との討論等、そして状況が許せば関連する施設見学等も行う予定です。
教科書	未定
参考文献	犯罪白書、再犯防止推進白書、武内謙治=本庄武『刑事政策学』(日本評論社、2019)
備考	演習の時間外のヒアリングや合同討論会への参加は原則任意ですが、演習の時間に準備を行う場合、その準備作業は演習の内容に含まれます。 本演習の選考は、K-SMAPYⅡのアンケート機能を用いて行います。面接は行いません。 アンケートには「レポート」課題に関するもの以外の項目(参照した文献、これまで履修 した授業等。)も設ける予定です。回答を総合的に考慮して合否を判定します。応募締切時 刻と課題提出時刻が一緒ですので、時間に余裕をもってアンケートに回答してください。